

発見された位置関係と順番を■■■■の証言をもとに作成致しました。警察の事情聴取の際に立ち合い書記したのになります。何かのお役に立てればと作成致しました。

以下本人の証言です。

自分が救出された後、他の先生方と救出を手伝いました。かなり体力を消耗するためスコップで掘る人間と掘り出した雪を掻きだす人間とで交代しながらの作業でした。一刻も早く全員を救助する必要があった為、発見後とにかく顔を出し呼吸ができる状態にし、顔と氏名の確認をしながら次の救助に移るといった感じでした。

ただ早く助けなければという感情しかありませんでした。それでも雪崩の雪は重くて固くて、全身を掘起せたのは■■■■のみで、他の人は顔を出すことを優先し、あとは全身が確認できる程度しか掘り出すことしかできませんでした。全身が掘り出されたのは救助隊の到着後です。

また■■■■先輩と毛塚先生は救助隊の到着後発見されていたようです。毛塚先生の発見場所はわかりませんでした。当時、顔と名前を認識できたのは自分だけであったため、自分が確認させてもらいました。手袋が脱げて素手で作業をしていたため掘り出しながら首の頸動脈に手を当て脈を確認しましたが、全員その時点で脈はありませんでした。

遺族の方へ

前日にテント場で全員で雪合戦をしました。温泉にも入りました。本当に楽しかったです。それがみんなとの最後の思い出です。必死に掘ったのですが、間に合いませんでした。何もできなくて申し訳ありません。

また何かご協力できる事があれば、お手伝いさせていただきます。

○発見された位置（氏名）氏名に付されている番号は発見順です。あくまで[]の証言によるものです。

※2、3番が抜けているのは[]が救出された時点では[]、[]、[]が既に救出されており[]、[]の発見場所が不明であるためです。また毛塚先生は救助隊により発見されているため不明です。

